

MAYUMI

Hitachi Umegaoka Hospital

Keiaikai of Medical corporation

Director Masaki Okada

〒316-0012 2409-3 Okubo-town,

Hitachi-city, Ibaraki-prefecture Japan

Tel:0294-34-2103

<http://umegaoka.or.jp>

Oct 2014 No73

コウジツキという言葉をご存知でしょうか。好日期？麴つき？聞きなれないこの言葉ですが、漢字で表すと見慣れた姿になります。

それは《向日葵》

向かう十日葵、これらを全て音読みにしたものでコウジツキ。そう、ヒマワリのことです。ヒマワリの別称の一つで、ヒマワリの漢名がコウジツキというわけです。

この他にも日輪草、日車草その他にも地域特有の呼び名を含めて、色々な呼び名があります。

日本でもヒマワリと呼ばれる由来は、よく知られている通り「太陽(日)の動きに合わせて動く(廻る)」こととされています。しかし、ヒマワリが太陽に合わせて動くのは、成長が早い若い時期だけで、見慣れた黄色い花が咲く頃には東に向きを決めて動くことはありません。若いうちに光を効率的に浴びるために太陽に合わせて動きます。そしてこのヒマワリの成長を、踏まえて一句紹介したい作品があります。

北原白秋のヒマワリを用いた俳句です。

『向日葵の 中さりとせめ 重たさよ』

これは、風を受けても揺れもしない堂々としたヒマワリの姿を俳句にしたものですが、ヒマワリの成長の過程を思いながら詠んでみますと、またひと味変わったものです。

成長の為に光の指す向きに変え、光源に付き従う若い時期。そして、光を体内にためて成長したら、付き従っていた光を待ち受けるよう向きを見据えて堂々と咲き誇る姿。勝手な解釈ではありますが、この過程その姿は花だけを詠んだものではないと思えます。私達も目標を定めるまでには時間を要し、風に流され煽られながら右往左往し、わけもわからぬまま光が差す方向をただ我武者羅に追うでしょう。しかしその時にも自らは気づかないところで力は蓄えられていきます。そしていずれはその蓄えられた力は、ずっしりと構えながら大きな花を咲かせ、見る人を勇気づける新たな光になるのではないのでしょうか。

菅谷 玲衣



第30回盆踊り大会 ～その笑顔のために～



盆踊り実行委員長 雨澤 徹弥

平成 26 年 7 月 29 日(火)、日立梅ヶ丘病院のビックイベントのひとつである盆踊り大会が行われました。

今年も天候に恵まれ、皆様のご協力のもと、ケガやトラブルもなく閉会式まで無事に終える事ができました。ありがとうございました。

さて、今年の盆踊り大会はいかがだったでしょうか。私は参加した方々の楽しそうに踊る姿や笑顔を見て本当に嬉しく、幸せな気持ちになりました。

お隣子を奏でてくださった北町鳴り物会の皆様が、「盆踊りに参加された方の元気のよい踊りや、笑顔ってホントに良いものですね。この笑顔を見ると、私達も嬉しいですよ」と、笑顔で盆踊り大会の感想を話して下さいました。

盆踊り大会は、本当に素敵な行事だと思います。来年の盆踊り大会では、もっと沢山の笑顔が見られるように、創意工夫をしたいと思います。そのひとつとして、本番前に、踊りの練習を行いたいと考えております。盆踊りの始まる前からお祭り気分を盛り上げれば、より楽しんで頂けるのではないのでしょうか。模擬店の内容も、新しいものを取り入れて、盆踊り以外でも皆様に喜んで頂けるようにしていきます。来年の盆踊り大会も楽しみにしてして下さい。



私たちは、盆踊り大会が、病院や患者様を理解して頂く良い機会となればと思っております。地域の方々に足を運んで頂けるようなイベントにするため、努力してまいりますので、来年の盆踊り大会に、是非足を運んでみて下さい。 広報委員

梅ヶ丘自然写真館



くちなし



あじさい



あけび



ブルーベリー

Green Curtain

| | |
|--|------|
| 表紙「向日葵」医事課 菅谷 玲衣 | P. 1 |
| 「第30回盆踊り大会」盆踊り大会実行委員 雨澤 徹弥 | P. 2 |
| 「梅ヶ丘自然写真館」 | P. 2 |
| 「精神科デイケア日立梅ヶ丘病院ソフトボールチームの奇跡」精神科デイケア助川 将吾 | P. 3 |
| 「図書だよ」図書委員会 | P. 4 |
| 「まり投げて見たき広場や春の草」看護副部長 岡田 有生 | P. 5 |
| 「防災訓練」総務課・「編集後記」・「病院案内」 | P. 6 |

精神科デイケア日立梅ヶ丘ソフトボールチームの軌跡

～スポーツの力がもたらすもの～

精神科デイケア 助川 将吾

今年の春、
我が日立梅ヶ丘病院精神科デイケアソフトボールチームは
地域交流大会で優勝を飾った。
全6チームほどの小さな大会だったが、
私がこのチームを率いて約3年、

記念すべき**初優勝**であった。

このチームが、ここまで来るのには様々な出来事があった。

始まりは自分が入職した3年前。当時は新棟が建設途中であり、運動できる野外の場所もなく、現在の体育館の様な運動施設もなかった。

さらに、震災も重なり周辺の施設は軒並み使用ができず、通所者も現在の約半数程であった。その為ソフトボールチームは他の職員の手助けでようやく1チームができる程度であった。

そして半年が経過し新棟が完成した。そのころから通所者が徐々に増え始め、約20名ものチームメンバーが集まった。しかし、メンバー間でのチームワークが上手く取れず、何かと理由を付けて練習を休む者も少なかつた、中には『練習してもどうせ勝てない』という言葉も聞かれ、チームとしての士気が低下しているのを感じた。

そこで、このチームをどうまとめていくか考えた。その結果『まず、自分がお手本になるしかない』と思い、自ら率先して動き、ソフトボールチーム全体を鼓舞し自分も楽しむことでスポーツの楽しさや良さを伝えていった。そう簡単なことではなかったが、色々試行しメンバーと語り合いながらチームみんなで練習を考えた。

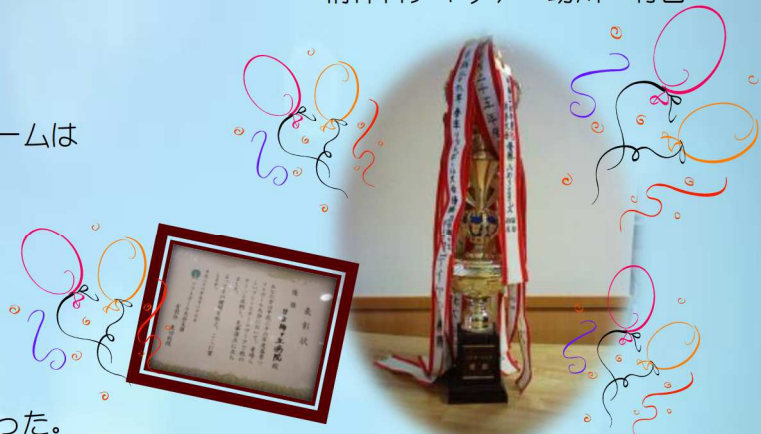
そうして挑んだ1年前の大会で、念願の1勝を上げ準優勝を獲ったことで、そこからチームの雰囲気、ソフトボールに対する姿勢が変わって行った。メンバーから自発的に練習をしたいという声が何度も聞かれるようになり、練習中も今までとは違う変化があった。そこには確かな『チームプレイ』があった。

そして迎えた今年の春、ついに念願の優勝を勝ち取ることができた。

何度も危ない場面を迎えたが、その度に職員が促すのではなく、メンバー1人1人が自発的に声を掛け合い、それが他メンバーにも伝播していき、チーム全体が盛り上がっていった。このことは自分自身大いに驚き、期待していた以上のものを得ることができた。そして、スポーツがもたらす大きな力を再認識させられた。

今回の優勝で、メンバーは勝つという喜びを知り、またその経過を楽しむというスポーツの醍醐味を体験する事ができた。そのことが、今後の生活や心にどのような変化をもたらすか、私たちスタッフは、しっかりと見守っていきたい。

そして、運動をすることの大切さ、集団コミュニケーションのとり方、人と人が助け合い相手を思いやること、スポーツを通して伝えられる特別なことがあること、それらをより多くの人に伝えていきたいと考えている。



現在は、秋の大会に向けて精神科デイケアのメンバーと職員が一丸となって練習を重ねております。連覇ができるよう精一杯力を尽くします。

応援宜しくお願い致します！

図書だより

Hitachi UmeGaoka

Book room

精神科ナースのための
医療事故防止・対策マニュアル 改訂版
谷口 ひろ子

認知症早期発見のための
CDR判定ハンドブック
目黒 謙一

相談・支援のための
福祉・医療制度活用ハンドブック
公益社団法人日本医療社会福祉協会

多飲症・水中毒ケアと
治療判断の新機軸
川上 正人 他

これで大丈夫！精神科訪問看護
はじめてBOOK
相澤 和美 他

和光病院式
認知症ケア
実践ハンドブック
BPSDを予防する
驚きの「和光病院認知症ケア
実践ハンドブック
和光病院看護部

実践に活かす！
精神科看護 事例検討
編集:未安 民生

労災・自費請求マニュアル
2014-15 版
武田 匡弘

この度、図書室を有効的に活用して頂くために、リニューアルを進めております。まず、合冊された古い雑誌等の不要なものを一斉にリサイクル処分致しました。それにより、広いスペースが確保されました。これから、本を分類別に整頓し、快適に過ごせる様な空間を作っていきたいと思っております。完成までにはまだ時間を要しますが、皆様の業務向上の助けと

なる図書室を目指し、努力してまいりますので、何卒ご理解ご協力をお願い致します。

また、定期的に差し替えに来る法律関係の手引きや法令集は、廃止致しました。大幅なコスト削減となりましたので、皆様には、是非業務に直結する本の購入願いを御出願頂きたいと思っております。

最後に、トラック1台以上の大量の本を運び出す作業に率先してご協力を頂きました方々、本の仕分け作業を手伝って頂きました先生方、本当に感謝しております。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

図書委員
川崎弘道
和田悠子



「まり投げて見たき広場や春の草」

看護副部長 岡田 有生

当院では、職員の「青春」を取り戻すために、野球部を始めた次第であります。「今さら野球とか…」と W 杯の熱が冷めやらぬ方には、一笑に付されるかもしれません。しかし、「巨人・大鵬・卵焼き」と『三丁目の夕日』世代は、日が落ちて野球の球を追いかけたに違いありません。日本中を沸かせた「野球」というスポーツを通して、われわれは団塊の世代には負けんぞと、あと一つ青春の一ページ、いや、四、五ページくらいは綴りたいなと考えたのであります。ひょんなことから、当院の野球部はまた時を刻み始めたわけです。

さて、僭越では御座いますが文字数の関係もありますので、もう少し書かせて頂けたらと存じ、当院の野球部の活動内容の紹介に紙面を割くことにします。練習は、基本的には毎週水曜日に行うようにしております。週の真ん中水曜日で御座います。但し、練習場所がうまく取れなかった時には別な曜日にスライドすることになっています。風が吹いたら遅刻して、雨が降ったらお休みといったカメハメハ大王的な場合もあります。練習内容は、部員のレベルに合わせることを心がけております。キャッチボール、ノック、フリーバッティングそしてノックと基礎をみっちりやっております。仕事も野球も基礎が最も大切なのであります。練習の中で一番大切にしているのは、声を出すこととあります。といいますのも、グラウンドの上で、つらい時も悲しい時も絶望に打ちひしがれた時も、仲間の声さえあれば、大の大人が何とか踏ん張れる場合があるかもしれないからです。声は力になるはずです。ましてや練習では、立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花のマネジャーたちが黄色い声援を送ってくれることもあります。彼女らは当院野球部の魅力的な部分の一つとなっています。その様を受けて、若人もオジサンも「オイオイ、ドウシタコネコチャン。オジサン、ガンバッチャウゾ」と声を張り上げ、汗を出しながらやっております。また、まだ始動して浅いものではありませんが、大会や対外試合などを通して、当院と共に地域の輪を広げていければと考えております。

経験者の方は、学生の時に白球を追った記憶を走馬灯のように呼び覚ましながら白球を追っていただければと思います。また、未経験者の方は、当院の野球部を通して上司、部下の垣根を超えたホームランを打っていただければ幸いです。経験者も未経験者もみんなウェルカムです。つまり、「皆の衆！どんと来い！」というヤツであります。汗を流し、球を追い、職場で「昨日はお疲れ様」と労い、そして、たまには皆で杯を交わし同じ釜の飯を喰らおうではありませんか。ちょっと野球をやってみたいなと思う方、また、昔の青春に憑りつかれてまだあの頃の気持ちを捨てきれない方、運動で汗を流してみたい方、ご家族様に「お腹周りが出てきたんじゃない」とか陰に陽にメタボだと言われた方、野球をやる目的は人それぞれ、人生いろいろ、男もいろいろ、女もいろいろ、会社もいろいろ、社員もいろいろであります。さぁ、ここは一つ、野球をやりましょう。

そういえば、当院では野球部員の他に看護師も募集しております。「野球もやりたい、看護師もやりたい」というキュートなワガママを言う方も「野球は興味ないけれど、看護師はやりたい」という真面目な方も、気軽に当院にお電話下さいませよう宜しくお願い申し上げます。「日立梅ヶ丘病院」と検索して頂ければ、素敵な青春のページを五、六ページくらいは綴って頂けるかと存じます。

日立梅ヶ丘病院

🔍 検索



防災訓練

万が一の火災に備えて、避難の流れや設備の説明、および消火活動の訓練を行いました。今回の防災訓練で、初めて消火栓から放水体験をしました。水の勢いが思ったより激しく、一人では、持っていられませんでした。

また、患者様が誤って火災報知器を押してしまった際に、混乱を招かぬよう迅速に対処するため、報知器の止めかたなどの訓練をしました。

もちろん、まずは現場を確認すること！慌てずに、すぐにメイン設備のある事務所に連絡をいれること！それでも、実際の火災の際は、落ち着いて行動できないので、こういった訓練を重ねることが大切だと感じました。



編集後記

今号は、夏から秋というテーマで編集してみました。内容が野球に偏ってしまいましたが、仲間とスポーツは、仕事に良い影響をもたらすと感じました。

さて、梅ヶ丘病院では、毎年秋晴れが清々しいこの時期から、院内の花壇や土手などのあちらこちらに“謎の大きな穴”が出現します。犯人は“イノシシ”です。先生方は、夜の回診で度々遭遇するらしく、中には護身用に警防を持って歩くドクターも居るほどです。今年は白昼堂々事務所の中庭に親子で遊びに来ました。自然と共存する職場を誇りにおもう今日この頃です。

IT委員会 広報誌編集委員 Y.W



外来診療担当表

| | | | | | | |
|------|---------------|----|----|----|----|----|
| 受付時間 | 8:30～ | | | | | |
| 診療時間 | 9:00～ | | | | | |
| | 休診日 | | | | | |
| | 日曜・祝祭日・第2.4土曜 | | | | | |
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 新患 | 後藤 | 高橋 | 院長 | 後藤 | 伊藤 | |
| | | | 清水 | | | |
| 再診 | 伊東 | 院長 | 後藤 | 清水 | 高橋 | 後藤 |
| | | 堀 | | | | |

受付・入院のご相談

初診・再診共に月曜日から土曜日まで全て予約診療となっております。お電話にて予約を承ります。

電話受付時間：

月曜日～金曜日 8:30～17:00

土曜日(第1・3・5) 8:30～12:00

0294-34-2103



医療法人 主愛会 日立梅ヶ丘病院

所在地: 〒316-0012 茨城県日立市大久保町 2409-3

TEL : 0294-34-2103

FAX : 0294-33-1800

URL : <http://umegaoka.or.jp>

E-mail : info@umegaoka.or.jp

